

尽きることない宝の箱

（下諏訪で生まれ育ち、そこに生きる）

友之町 小口 史子



大きな木が好き

木が好きだ。特に理由はない。存在感のある大きな木が好きなのだ。

電車や車から遠くに大木を見つけると、気になってしかたない。地図で場所を調べ、ある時は電車で、ある時はマウンテンバイクを走らせては現場まで行く。そこはお寺だったり小さな神社だったり、お墓だったりもする。

子どもの頃からの光景が：

ある夏の日、遠方から友人がやって来た。「これしかない！」と町内巨木巡りを実行。

まずは、秋宮へとつづく八幡

坂をのぼり、「専女の櫓」へと向かう。この木は、秋宮の鳥居

あたりから少し離れて眺めるのがよい。青空をバックに大らかに枝をのばす姿は、美しく力強くもある。幹には人が数人立って入れるほどの空洞がある。こういった木に出会うと、なぜか幹の中にもぐり込みたくなる。

続いて八幡神社の櫓、秋宮の「寝入り（根入り）の杉」を見て、青塚古墳へ。墳丘を守るように櫓の大木が立つ。その根元

は、まるで座椅子のように張り出している。ここからのおすずめは、湖と走る電車がまるでジ

オラマ（小型模型）のように見えることだ。風に木の葉がこすれ合う音が心地よい。子供の頃の夏の光景が、少しも変わらず

そこにはある。

そして慈雲寺へ。「天桂松」

の地面を這うように、うねりながらのびる枝の曲線にアート？を感じ、春宮では、石堀さえも持ち上げてしまう櫓の迫力に圧倒される。鳥居からまっすぐ先に、諏訪湖が見える風景に感動しつつ、最後は大門通りにある旧家の櫓を屏越しに眺めて、私たちの巨木ツアーは終了した。



青塚古墳の櫓

景が広がる場所にあり、どう見てもここよりは田舎なのだ（ごめん）。そして友人の残っていた言葉は、私のこの街へのプライドをくすぶった。「秋宮、青塚、春宮をつなぐトライアングルゾーンには、宝箱のように面白いものがたくさん詰まっている」のだと。

私は、子供の頃ここを走り回り、遊んだ事を思い出していた。

あの頃も宝ものがキラキラと詰まっていた場所だった。「人が大人になってから為す表現というものは、必ず生まれ育った幼き頃の環境を映す」と言った人がいる。私の巨木好きには、やはり理由があったらしい。

さて次は、古地図片手に水路巡りもおもしろそう・・・

この宝箱に尽きることはない。

ひろば

なぎがま祭での発表より

中学生に足りないもの

下諏訪中学校三年 金高 孝紀



みなさんは、「中学生に足りないものは？」と問われたら、何と答えますか。「積極性が足りない」とか、「やる気が見られない」「そんなことは自分が一番理解している」など、いろいろな答えがあると思います。現状を見ると、僕は「我慢」が一番足りないものではないかと考えています。そう考える根拠になった体験について、お話ししたいと思います。

先日、ある中学校のサッカー部と試合を行いました。いざ戦ってみると、ユニフォームは平気で引つ張るし、審判の判定が気に食わないと暴言を吐くし、とてもサッカーとは言えない試合になってしまいました。結局、

数名レッドカードをもらい退場となり、その中学校は負けという結果になりました。

たった一人が引き起こしたワンマンプレーによって、チーム全体が乱されてしまうのかと、チームプレーの難しさを改めて実感しました。スポーツをやるからには、決してフェアプレイ精神を失ってはならないこと、すなわち我慢する心（自制心）がなくてはならないということも、この試合を通して感じることができました。

次に、クラスをはじめとした授業への取り組み方はどうでしょうか。我慢できずに、つい近くの人と私語をしてしまったり、先生が授業してくださっているのに他のことをやっていたり、居眠りをしていたりする人はいませんか？周りにそういう人が

いる、あるいは自分のことだと自覚している人もいるかもしれません。

授業というものは、みんなできりあげるといふことによって、理解できたり分かり合えたりするのだと思います。勝手なことをしている人が少し我慢して、一人ひとりが自分の意見を言い、みんながそれを受け止めることができる。それが、分かり合える授業をつくる第一歩だと思います。

現在、僕たち中学生は全般的に、夢を失いかけている人が多くなっています。自分だけが良ければいいのではなく、少しでも周りに心を傾け、そのような人を見かけたら、積極的に呼びかけてみたらどうでしょう。



教育委員会からのお知らせ

町民大学 一下諏訪を学ぶ一

演題：「メンデルの遺伝に関する話」

講師：長田敏行（メンデル協会会長・元東京大学教授） 中込弥男（元東京大学医学部教授）

日時：11月6日（土）午後1時30分～午後3時 会場：文化センター集会室

下諏訪出身の篠遠喜人博士が創設されたメンデル協会による講演です。遺伝に関する情報は身の回りに溢れていますが、正しい知識は意外と知らないものです。最先端で活躍される先生に分かりやすく教えていただきます。ご期待ください。